

報道関係各位

2017年4月5日

マレーシア工科大学と共同研究契約を締結 ～土質が分かるSDS[®]試験 マレーシア国内での普及を目指す～

戸建住宅の地盤調査・建物検査を手掛けるジャパンホームシールド株式会社（所在地：東京都墨田区、代表取締役：斉藤 武司）は2017年3月、当社独自の地盤調査方法「スクリュードライバーサウンディング試験（以下、SDS[®]試験）」のマレーシア国内での普及を目的に、マレーシア工科大学（UTM 大学）と共同研究契約を締結しました。



<UTM 大学で行われた研究開始セレモニーの様子>

現在、マレーシアでの地盤調査は、大掛かりなボーリング調査、もしくは簡易なマッキントッシュプローブテスト法が主に用いられています。今回の共同研究は、SDS[®]試験を用いることで高精度な地盤調査が簡便に実施できることを証明し、同国での SDS 試験の普及を目指すものです。今後、住宅地での地盤調査に加え、道路や堤防などインフラ関連の建設での活用を予定しています。

SDS 試験は地盤事故ゼロを目指し、ジャパンホームシールド、日東精工株式会社（所在地：京都府綾部市、代表取締役社長：材木 正己）、東京都市大学の末政 直晃教授が開発した地盤調査方法です。現在主流のスウェーデン式サウンディング試験（SWS 試験）は、地盤の土質構成を音や感触で判別していますが、SDS 試験は従来の測定データに加え、回転トルク値などのデータを総合的に分析することで、より正確な土質判断が可能となります。また、小型の調査機を用いるため、大掛かりな機材を必要とするボーリング調査と同等の高精度を保ちつつ低コストで実施可能というメリットを持ち、今後、軟弱地盤が多い東南アジアを中心に採用の拡大が見込まれています。

ジャパンホームシールドは今後も、高度な技術と専門知識を外部との連携等により社会に活かすとともに、世界中の人々の豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。

本件に関するお問い合わせ先

ジャパンホームシールド株式会社（<http://www.j-shield.co.jp/>）

本社：東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア 17F

報道関係の方から：広報マーケティング部 児新（コニイ） TEL. 03 - 5624 - 1545

※このリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお届けし、ジャパンホームシールド（URL: <http://www.j-shield.co.jp/>）のホームページで発表しています。

<ジャパンホームシールドは LIXIL グループの一員です>